

指導案

「公平」について考えてみよう！

「道徳」の授業として、C-(13) 公正、公平、社会正義について学習することができます。

授業の目標

- ・車いすを使う仲間といっしょに、みんなで「公平」にドッジボールを楽しむためのルール of 工夫を考える。
- ・困り感を抱える人がいたら、その解決に向け、みんなで考えたり工夫したりすることが当たり前であることを理解する。

【授業後にめざす姿】

- ・仲間の意見に耳を傾けることができる。
- ・困っていることをみんなで共有できる。
- ・「公平」にするためにアイデアを出すことができる。

授業展開（45分）

時間	学習活動と内容	指導上の留意点
7分  約5分	1 「公平」とはどんなことだと考えるか、投げかける。 これからドッジボールをするときのことを例に、「公平」について考えていくことを伝え、映像を再生する。	・ドッジボールをしたときのことを思い出させ、どのようにしたら「公平」に、みんながいっしょに楽しめるか投げかける。 ・映像は、車いすを使うめいさんの意見を聞くために、「時間を巻き戻して」考え直すストーリーになっている。
	問い みんなでいっしょに楽しむために、どんなくふうができるだろう？	
10分	2 考えよう 車いすを使うなかまといっしょに楽しむためのくふうを考えよう。 ○ヒントを参考に、どんな工夫が考えられるか、グループで話し合わせるなどして考えさせる。 ○発表させ、考えを共有する。	・「みんながドッジボールをするとき、本当にみんなが楽しめているかな？楽しめていない人もいるかもしれないね。映像のようにみんなの意見を聞くことが大事だね。」などと伝え、ワークにつなぐ。 ・ヒントとして、以下の2つを準備。 車いすを使うめいさんの立場で考えさせる。 一車いすを使っていると難しいこと、苦手なことは？ 一みんながドッジボールで楽しいと感じるときは？
3分  約3分	3 「めいさんのクラスでは、どんな工夫を考えたのだろう？」と投げかけ、映像を再生する。	・映像では、相手チームから「不公平だ、ずるい」という声が出て、相手チームを含め、「みんなが」楽しめる「公平」にする工夫を考え直すストーリーになっている。
15分	4 考えよう みんなが楽しめる、不公平にならないくふうを考えよう。 ○ヒントを参考に、どんな工夫が考えられるか、グループで話し合わせるなどして、さらに考えさせる。 ○発表させ、考えを共有する。	・2で自分たちが考えた工夫を見直してもよいし、新しい工夫を考えてもよい。 ・「めいさんたちが考えた工夫は『公平』だった？相手チームから意見が出てきてしまったね」などと確認するとよい。 ・ヒントとして、場所・コート、時間・回数、道具（用具）、人の4つを準備。 ・ある程度考えさせたら、「みんなが考えた工夫は、『公平』になっていると言える？」などと投げかけるとよい。
10分  約4分	5 再び、「めいさんのクラスでは、どんな工夫を考えたのだろう？」と投げかけ、映像を再生する。 ○映像で伝える「みんながいっしょに楽しめるようにするために大切なこと」を改めておさえる。 ○「公平」についてどのように考えるか発表させ、考えを共有する。 ○本時のふりかえりを記入させる。	・映像では、以下3点を大切なこととして伝えている。 ①みんなが楽しめているか確認する ②（どんなことに困っているのか、なぜ楽しめていないのか）本人の考えを聞く ③参加する全員で、解決策を話し合う ・タマちゃんのつぶやきを提示し、その後の学習や生活につなげるよう伝えとよい。

ワークのポイント

考えよう

車いすを使うなかまといっしょに楽しむためのくふうを考えよう。

- ・まずは、自分たちのクラスにも「車いすを使う仲間」がいたとして、いっしょに楽しむための工夫を考えさせます。

「公平」について考えてみよう！

1 映像 初めの映像を見よう

みんなでいっしょに楽しむために、どんなくふうができるだろう？

2 考えよう 車いすを使うなかまといっしょに楽しむためのくふうを考えよう。

3 映像 2 番目の映像を見よう

4 考えよう みんなが楽しめる、不公平にならないくふうを考えよう。

5 映像 3 番目の映像を見よう

ふりかえり

授業をふりかえって、気づいたこと、考えたことを書こう。

考えよう

みんなが楽しめる、不公平にならないくふうを考えよう。

- ・次に、相手チームも含め、「みんながいっしょ」に、「公平」にドッジボールをするための工夫を考えさせます。

考えよう画面では、自分の端末からヒントをクリック！

考えよう

車いすを使うなかまといっしょに楽しむためのくふうを考えよう。

車いすを使っている人にとって、苦手なことは？

みんながドッジボールで楽しいと感じるときは？

車いすを使っている人にとって、苦手なことは？
～めいちゃんの場合～

でこぼこがあるとバランスがくずしやすい

横に動くのは難しい

すばやく方向を変えるのが難しい

ゆがみや傾斜にあるものが取りにくい

みんながドッジボールで楽しいと感じるときは？

うまく投げられた！

投げた方向がよかった！

チームの作戦がうまくいった！

「公平」にするためには、どんなくふうができるだろう？

場所・コート
ラインやエリアをうまく使えないかな？

時間・制限
うまくくふうできないかな？

道具・用具
ちがうものに変えたり、何か他のものを使ったりできないかな？

人
協力してできることはないかな？

ここでヒントとして提示している「場所・時間・用具・人」の4つは、パラスポーツのルールを考える際に大切な考え方です。

【話し合うときのポイント】

話し合いの際、児童にお伝えください。

- ① 他の方の意見をしっかり聞こう。
- ② 意見を伝えた人には、拍手をしよう。
- ③ 「いいね」「なるほど」など相手を認めながら、意見をつなげよう。
- ④ 全員が発言できるようにしよう。

ここをクリックすると表示されます！

考えよう

車いすを使うなかまといっしょに楽しむためのくふうを考えよう。

車いすを使っている人にとって、苦手なことは？

みんながドッジボールで楽しいと感じるときは？

ICTの活用アイデア

グループで考える・クラスの考えを知る（協働的な学び）

グループでの話し合いなどでは、ICTを活用することで、考えを可視化し、効果的に深めることができます。

グループ

みんなが楽しめる、不公平にならないくふうを考えよう。

みんなが楽しめる、不公平にならないくふうを考えよう。

←グループごとに、考えを打ち込んでいます。クラスの考えを見ながら、さらに考えを広げることができます。

(Googleスライドの例)

個人の考えを→クラスで共有している例。(ロイロノートの例)

みんなが楽しめる、不公平にならないくふうを考えよう。

みんなが楽しめる、不公平にならないくふうを考えよう。

めいちゃんは外野で投げる

自分のペースで考える

(個別最適な学び)

考えようのページには、ヒントを準備しています。ぜひ、各自の端末から開かせ、自分で考える参考にさせてください。

その問いを考えたときに、URLを送付したり、開かせたりすると、活動に集中させることができます。



また、イヤホン準備すると、映像視聴も含め、自分のペースで、自立的に学習を進めることができます。

ワークシート回答例

「公平」について考えてみよう！

年

組

番 名前

1 映像 ▶ 最初の映像を見よう

問い

みんなでいっしょに楽しむために、どんなくふうができるだろう？



自分で学習する
サイトはこちら



2 考えよう 車いすを使うなかまといっしょに楽しむためのくふうを考えよう。

考える
ヒント



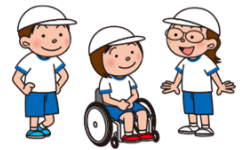
例

- ・ 車いすを使う人は、外野をやる。（映像では、この工夫を例としてストーリーが進行します。）
- ・ ボールを取った人はなかまにパスして、みんなが投げられるようにする。
（ヒント「車いすを使う人は、床や地面にあるものが取りにくい」、
ドッジボールは「当てると楽しい」を参考に考えた例。）



3 映像 ▶

続きの映像を見よう



4 考えよう みんなが楽しめる、不公平にならないくふうを考えよう。

考える
ヒント



例

- ・ 相手チームも外野から当てるだけの人をつくるなど、どちらのチームも同じルールにする。
（映像で例示された工夫をもとに考えた例。）
- ・ 強いボールを投げるのはがんしエリアや、●回までは当たってもOKなどのとくべつエリアをつくる。
- ・ 当たってもいたくないボールにする。 ・ とくいな人と苦手な人がペアになる。
（ヒント「場所、時間、用具、人」の視点から考えた例。）



5 映像 ▶

まとめの映像を見よう



ふりかえり

授業をふりかえって、気づいたこと、考えたことを書こう。

- ・ みんながなっとくするのが、「公平」だとわかった。
- ・ 「公平」のためには、一人一人の気持ちを聞いたり、みんなで話し合ったりすることが大切だと思った。
- ・ 自分はよくても他の人はこまっていたり、気づかなくて「ふこうへいだ」って感じている人がいたりするかもしれないので、まわりを気にしたり、みんなのことを考えたりすることが大切だと思う。

タマちゃんの
つぶやきも
見てね！

